

様式 1 1

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立障害者自立支援センター（あかつき園・ワークセンターささゆり） 箕面市立障害者福祉センター（ささゆり園）
指定管理者名	社会福祉法人 あかつき福祉会
開催日	令和4年（2022年）10月21日（金）
開催場所	箕面市立障害者福祉センター（ささゆり園）プレイルーム
合議の出席者	手をつなぐ親の会 副会長 名淵 須和子 氏 箕面市肢体不自由児者父母の会 書記 伊藤 久仁子 氏 箕面市障害者市民施策推進協議会 座長 安東 由紀子 氏

【概要】別添のとおり

内容

令和4年10月21日（金）に箕面市立障害者福祉センター（ささゆり園）プレイルームにて、指定管理者にかかる合議を実施いたしました。その中で合議メンバーより以下のような意見がありました。

（障害福祉室の説明：「市」 指定管理者の説明：「指」）

1) 利用者アンケートについて

- ・無断外出とは何か。

指) 外出には必ず職員が付いているが、利用者が勝手に施設外に出ていたケースを無断外出の対象としている。本件は施設内で所在不明となったものを無断外出に区分したが、分かりにくいので表現を改める方向で検討する。

- ・ささゆり園でヒヤリハットが減り事故が増えているが、骨折とはどんな事故か。

指) 骨折については発見されたのが入浴時であったケースで、来園前の園外での発生の可能性があり、事実関係が不明であったケース。今は完治して、以前と同じように通所出来ている。

- ・ボディチェックの実施状況はどうか。

指) 全員に対して毎日実施していないが、転倒されたり、自傷行為がある人など、個別にご家族と相談して実施している。

2) 指定管理事業について

- ・指定管理の事業は赤字なのか。赤字の場合、市の補填はあるのか。

指) ささゆり園は黒字で、あかつき園・ワークセンターささゆりは赤字となっている。

市) 赤字、黒字も含めて、事業所の責任において事業を運営するので、市からの補填はない。

- ・ワークセンターささゆりの生活介護サービスで、森町からの通園について同じ箕面市民であるのに実費負担があるのはおかしい。箕面市から補填すべきではないか。

指) 箕面市と協議しているが、箕面市からの補填はない。あかつき福祉会も通行料を負担しているが、ガソリン代は実費を当該利用者からいただいている。

市) 地理的な問題である為、支援は出来ない。従前と状況に変更がない為、決定が変更されることはない。

指) 市内に資源がなく、市外に求めてもその市民が優先になるので利用出来ていない。

様式 1 1

- 森町で支援学校に通っている子も多いので、行政にもう一度考えていただきたい。
市) 高齢の施設における事例も参考に必要がある。

- 訪問入浴の確保が難しいので、ささゆり園での入浴には力をいれてほしい。

3) 総評

- 個別支援計画に写真が掲載され、本人の状況がより把握出来るようになった。
- 個別支援計画やモニタリングで、保護者に選択枝を提供しているのはいいと思う。事業所におまかせにならないよう気をつける必要がある。
- 利用者支援でコミュニケーションの部分が欠けているという意見を聞く。担当者によるところもあるが、意外とよく頑張っている。
- あかつき程、日中活動支援を頑張って、内容を充実させている事業所はない。創作活動やゲームなどアイデアが豊富で、利用者も楽しんでいる。特に重度の障害者に対してのノウハウは大きい。
- 相談支援事業所は、あかつき福祉会と連携して、意見をフィードバック出来ているが、相談支援以外の生活介護や就労系の事業所は、横のつながりが無い。
- 箕面市の指定管理事業者として、他の事業所にフィードバックして、市内事業所の資源の底上げをしてほしい。指定管理のフレンドカラーは、取組を頑張っている。他の事業所も含めて見学に行けば、学ぶべきところは一杯ある。経済的な事情 知識量も違うので、指定管理事業者としての役割を担ってもらいたい。高齢化に伴う介護技術の情報が必要になる。支援者を守り、利用者が安心して活動する為にそういう技術がいる。これからも課題にはなってくる。行政が主催する方法も考えられる。
- 親の思いを受けて大事に育ててきたが、今は思いを受け継いでいないのでは。短期入所は、予算が削られたら、止めてしまった。自らの資金で続けていくという、そこまでの思いがなかった。思いのある人がいなくなった。障害者を大事にするという思いをずっと持ち続けてほしい。

『指定管理として、まだまだ引き続き頑張ってもらうが、概ね好評を得ているという結論でよろしいか。』

全員) 問題なし